

首都圏情報発信拠点（（仮称）滋賀魅力体感創造拠点）の整備について(案)

1 目的

- ・ 琵琶湖をはじめとする滋賀の豊かな自然や歴史文化、その豊かな環境で育まれた食やモノ等“数多くのいいものがある”ということを地域の強みとしていくためには、効果的に発信し、その魅力に触れ、体感できる機会を増やしていく必要がある。
- ・ 2020年東京オリンピック・パラリンピックを控え、情報・人・モノがさらに集中する首都圏で滋賀を体感できる窓口であり、首都圏での発信と滋賀への誘引の役割を担う「（仮称）滋賀魅力体感創造拠点」を整備する。
- ・ 地域間競争の時代を迎え、また、グローバルでの発信や競争力が求められる今日、買う・訪れる・住むといった場面で滋賀が選択されるよう、首都圏で滋賀の個性を磨き、新たな豊かさ、創造につなげるとともに、拠点での取組を通じて、県民自らが一層誇りをもち、地域力や豊かさを実感できる滋賀づくりを目指す。

2 コンセプト

(1) 日本のよさは滋賀にある

- ・ 滋賀は「豊葦原 瑞穂の国」の原風景。東西交通の要衝として歴史の表舞台にもなり、その遺産を今にとどめる。近江商人ゆかりの日本橋で、高い文化性やクールなモノづくり、滋味あふれる食など、日本の素晴らしさを体現する滋賀の上質さや生活スタイルを提案

(2) メディアとつながる

- ・ ご当地ものにあふれ、地域間競争のただ中にある首都圏で、滋賀のよさ、発信する情報に関心をもってもらい、届けるために企画を編集する運営スタイルを採用
- ・ テレビや雑誌等媒体だけでなく、SNSを活用した個の発信、拡散等を念頭に“滋賀”を引き出し、ワークショップ等の体験イベントや展示・販売を展開する総合プロモーションを実施

(3) 共に創る

- ・ 多様な主体が多方面から滋賀を切り出し、集う場となる包容力をもった拠点であり、また、来訪者を消費者としてだけでなく、新たな発見・創造の参画者と捉え、利活用自体が話題となり、財産となっていく利用スタイルを志向
- ・ 滋賀につながるきっかけをつくとともに、対話や活動を通じて生まれる新たなアイデアやシーズを拠点の運営のみならず各方面にフィードバック

3 基本的機能

<p>①魅力体感</p> <p>a.企画催事</p> <p>b.食の体感</p> <p>c.情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域のヒト、コト、モノや四季など様々な角度から滋賀を切り出してテーマを設け、販売（マーケット）や食の体感と一体で魅力を伝える。 ・ 近江の米、牛、茶、湖魚、野菜や地酒等“旬”の滋賀を味わう、食で滋賀を体感する。 ・ 琵琶湖をはじめとする滋賀の豊かな自然や歴史文化の発信、県内各地域の観光物産PR活動・首都圏イベントの発表等
<p>②マーケット</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県産の食、モノや暮らしを展示PR・販売し、素材のよさ、質のよさに触れる。
<p>③水先案内</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拠点内に展開する各コンテンツの案内 ・ 観光や移住交流（UIJターン就職を含む）、企業誘致等拠点の来訪者の関心、ニーズに応じて初動サポート役を担い、拠点と滋賀をつなぐ。

4 拠点物件

(1) 物件概要

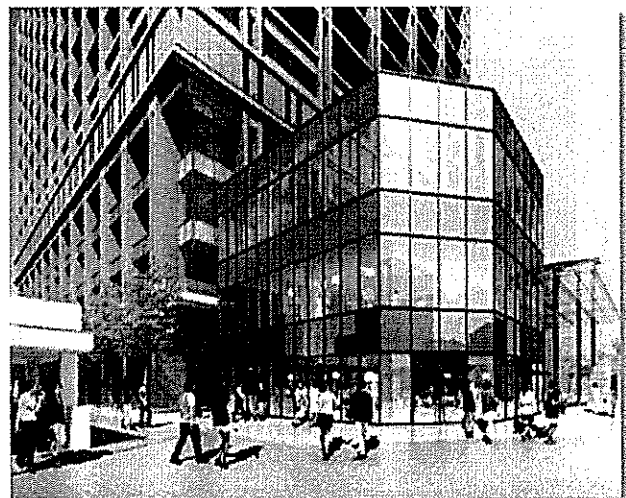
名称	東京日本橋タワー（二期工事部分）		
所有者	東京都中央区日本橋二丁目7-1 赤木屋ホールディングス株式会社 取締役社長 赤木 康平		
所在地	東京都中央区日本橋二丁目7-1		
面積	1階 約44坪（約145㎡） 2階 約42坪（約139㎡） 計 約86坪（約284㎡）		
備考	平成29年3月竣工予定		

(2) 賃貸借条件

賃貸借条件	賃料（共益費込）	月額8,000千円（税別）
	契約期間	10年
契約期間中の賃料（税込）	平成29年度 年額62,807千円、平成30～38年度 年額103,680千円、計 995,927千円	
保証金	80,000千円	



〔物件位置および建物イメージ〕



5 運営

- ・ 県は基本的機能の運営を民間事業者へ委託することとし、運営事業者は公募により選定する。
- ・ 県および観光物産振興の中核団体である「（公社）びわこビジターズビューロー」、運営事業者からなる「（仮称）滋賀魅力体感創造拠点」運営会議を設置する。

6 全体スケジュール（予定）

平成28年	7月	賃借条件の詳細、運営・内装設計事業者選定に向けた仕様等の検討
	8月	物件仮契約 運営・内装設計事業者選定プロポーザル公告
	10月	運営・内装設計事業者決定
平成29年	2月	物件賃貸借契約
	3月	竣工、引渡し
	4月	内装整備業務公告
	5月	内装整備事業者決定
	10月	オープン